「褒め」の捉え方と反応について

安藤ゼミ　河野友愛

目次

第一章　序論
　第一節　問題関心
　第二節　褒めについて
　第三節　本研究の目的

第二章　予備調査
　第一節　目的
　第二節　方法
　第三節　結果
　第四節　考察

第三章　本調査
　第一節　目的
　第二節　方法
　第三節　結果
　第四節　考察

第四章　総括

引用文献
参考文献
付録１　予備調査アンケート用紙
付録２　本調査アンケート用紙

問題関心

・褒めの捉え方やその返答・反応についての研究は比較的少ない

・良い人間関係のために「褒め」は重要な役割を持つ＝褒めへの返答も重要？

・日本人は他言語話者よりも否定的もしくは回避的な回答をする傾向がある（柏木　2017）

⇨

<u>大学生が友人から褒められる日常の場面</u>

褒めの対象による「褒め」の捉え方・反応の違いに着目

研究の目的

褒めの対象や個人的要因による褒めの捉え方や反応の違いから、褒めへの返答傾向を探る

仮説①　関心度の高いものについて褒められた時は、褒めを肯定的に捉える。

仮説②　賞賛獲得欲求が高い人は、褒めを肯定的に捉える。

仮説③　自己肯定感が高い人は、褒めを肯定的に捉え、肯定的な反応を選択する。

調査概要

【調査期間】

2021年8月29日～9月19日

【対象者】

大学生男女190名

（男性75名　女性115名）

【調査方法】

Googleフォームを用いたアンケート調査

【質問紙構成】

場面想定法

・褒めの捉え方

・褒めへの反応の予想

個人的要因

・褒めの対象への関心度

・賞賛獲得欲求

・自己肯定感

調査概要

想定場面5種類（対象：学業・容姿・服装・性格・料理）

【例】 同じ講義を受けていた友人から、「あの先生の授業の評価Sだったの？賢いね！」と褒められる。

i どのように感じますか （褒めの捉え方11項目　5件法　　小島　2013）

ii どのように反応・返答すると思いますか （肯定・回避・否定2種ずつ、その他）

【反応選択肢　例】

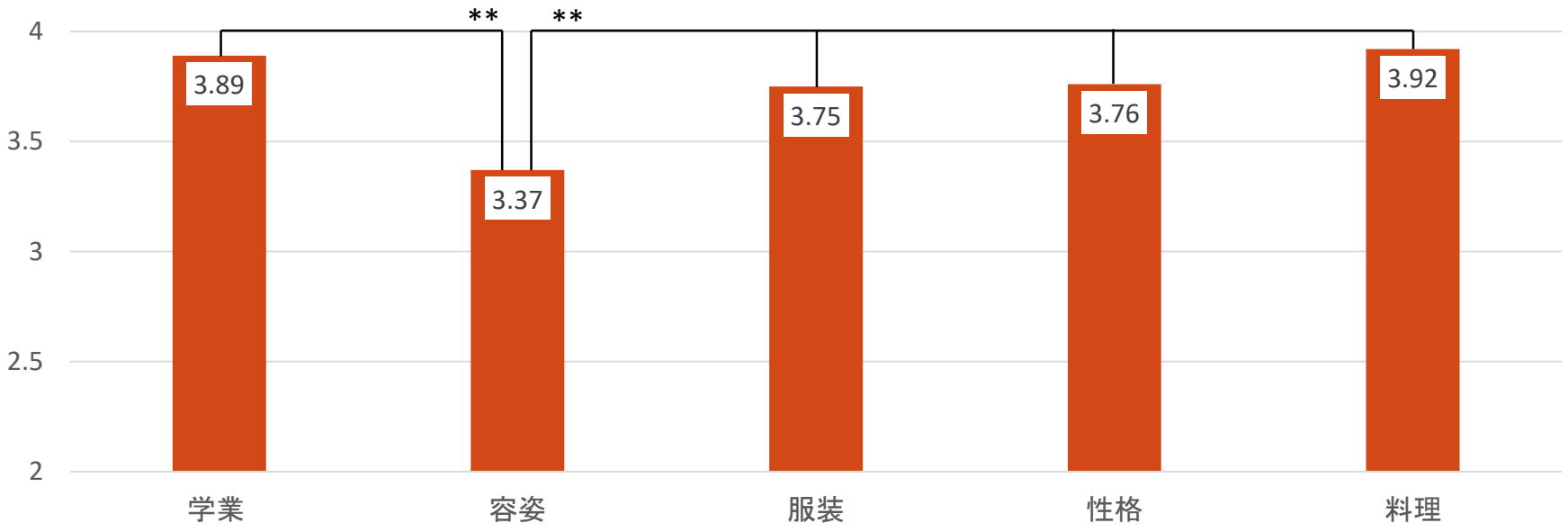
肯定 「ありがとう。S取れて嬉しかった！」

回避 「でも他のレポートは単位ギリギリだったんだよね。」

否定 「全然だよ、分からないところあったし。」

結果①　褒めの捉え方

・全体的に、褒めは肯定的に捉えられている
・容姿についての褒めは他と比較して肯定的に捉えられにくい

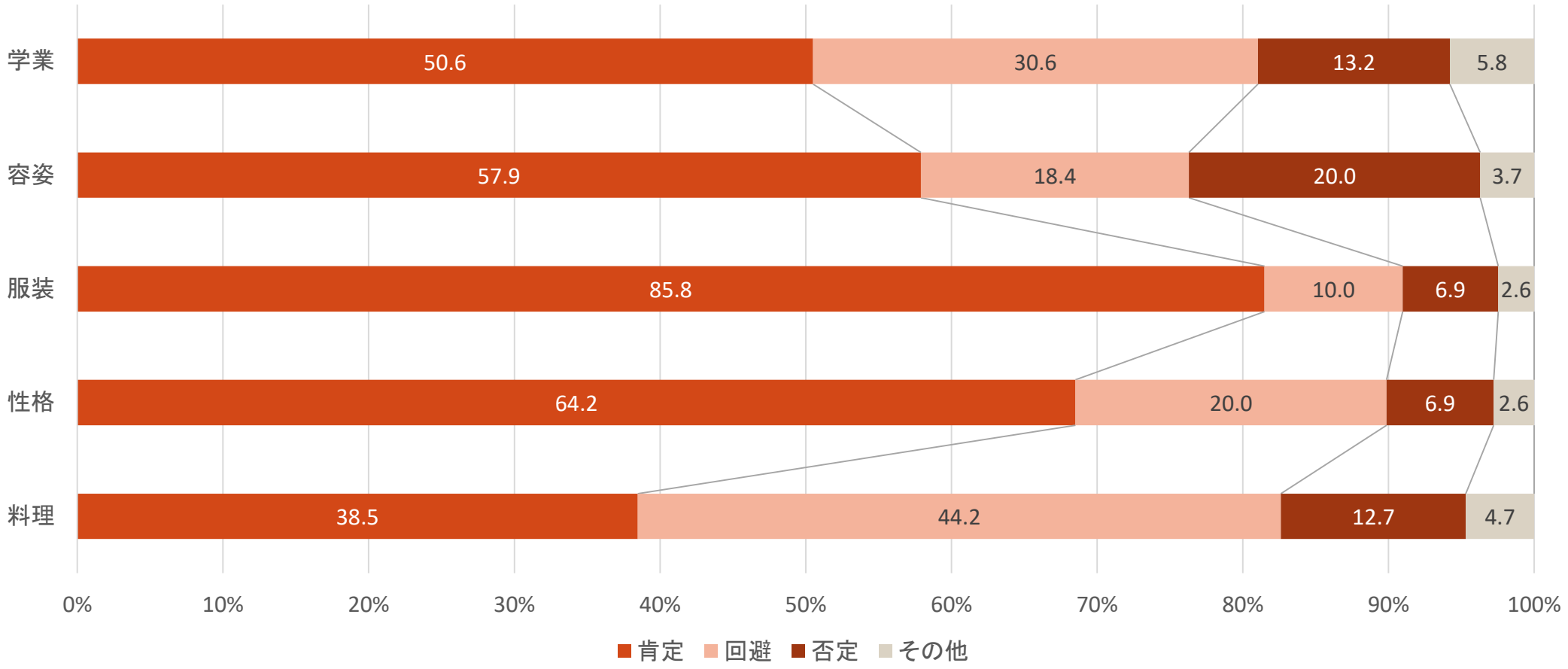


１ネガティブ～5ポジティブ
【例】
１馬鹿にされたと思う⇔5認められたと思う

１手放しに喜べない⇔5純粋に喜ぶ

**p<.01

結果②　褒めに対する反応



結果③　褒めの対象への関心度

・自信
・努力
・他者評価への関心

褒めの捉え方（肯定的な評価）との関係

	学業	容姿	服装	性格	料理
相関係数	.225**	.440**	.452**	.299**	.326**

**p<.01

すべて有意な正の相関

⇨ 褒めの対象への関心度が高いと、褒めを肯定的に捉える（仮説①）

考察①　関心度と褒めの捉え方

褒めの対象によって、褒めの捉え方に違いがある

褒めの対象への関心度　高　➡　褒めの捉え方　肯定的

- 褒めが肯定的に捉えられる背景要因

自信 （自己評価の高さ）	努力	他者評価への関心

考察②　褒めに対する反応

良い人間関係を構築・維持するために．．．

今まで

・褒めを否定

・謙遜する

＝習慣・礼儀

↓

嬉しくても自画自賛は避けたい
褒められたから喜ぶべき？

褒めの受け手のジレンマ

現代

・褒めを受け入れる

・感謝を伝える

・その後に続けるコメントを工夫

↓

自画自賛を避け、
謙遜の気持ちを表す　＝礼儀

ジレンマの解消

ご清聴ありがとうございました。